

9月2日(月)香川県は高松市で開催された中四国協議会青年部交流会に参加して来ました。参加メンバーは部長・副部長2名・部員1名の4名です。現地に昼過ぎに到着し、偶然岡山県メンバーと遭遇したので、昼食にうどんを食べながらお互いの近況報告をし合い、隣県同士の場外交流会が始まりました。岡山県青年部は、なかなか面白い活動をしているので、日常会話でも油断していると重要なヒントを聞き逃してしまうので気が抜けません。場外交流で脳を活性化した後は会議場に向かい、会議開始までの時間に久しぶりの再開を楽しみました。各県青年部代表として会議に望んでいる面々なので、興味深い話が其処彼処で交われ、時には過去の失態なども掘り起こされ赤面する時も。会議場は高松港を含むサンポートという臨港施設にあり、その名も「高松シンボルタワー」といい、四国で最も高く特徴的な近代建築物でした。

冒頭の記念撮影では、開催県は携帯カメラで撮影し、広島が三脚立てて撮影という、広報の意気込みの落差を感じる形でスタートを切りました。会議は香川県の理事長・副理事長からの挨拶と激励が始まり、青年部全国代表である熊本県の井島代表幹事からは、青年部には儲ける集団になって欲しいとの大森理事長からの言伝を頂いたのち、全国青年部代表者会議開催へ向けて各県の努力を期待すると挨拶がありました。

各県の活動報告・計画を発表し合った後は、去年広い範囲で大きな被害をもたらした「西日本豪雨災害」の対応を踏まえ、これから起こりうる被災とその対応について熱のこもった議論が交わされました。



島根県青年部からは、来年島根県で開催される全国理容競技大会でのブース出展協力が要請されました。広島県青年部としても何かお手伝い出来ることがあれば・・・。

会議は来年の開催が高知県である事を確認して閉幕し、会場を変え「金魚」なる焼肉屋で懇親会を催して頂きました。折角の懇親会という事で恒例となっている各県が散り散りに座っての場外交流会を楽しみました。お腹も満たされその後も二次・三次回と、1年ぶりの交流会は続いたのであります。



9月第二月曜日の「理容ボランティアの日」

に先駆けて、8月26日(月)瀬戸内海に浮かぶ似島に建つ「広島平和養老館」まで散髪に行って参りました。普段と違うメンバーに利用者さんから戸惑いの声も聞こえて来ましたが、取材に来ていたテレビカメラには笑顔で対応して下さっていました。部長が取材に一生懸命答えていたシーンは全てカットされて放送されており、テレビって残酷だな～と感じました。来年以降も継続して行う予定なので、これを読んでいるアナタに声を掛けるかも!?



9月14日(土)ジュニア懇親会が開催されました。

「酒と和みと肉と野菜」という長い名前の店にて執行部とジュニアメンバー13名が集まり、ワイワイと和みながら酒と肉と野菜を楽しみつつ、今後の活動の予定などを話し合いました。